

みんなの **おかやま**

市民のひろばおかやま特集号
考えよう、岡山市の明日。

Vol.10
2013年1月号



2014年秋
「ESDに関する
ユネスコ世界会議」
開催!

多彩なプレイヤーが
さまざまなESDを
展開しています!

岡山市は世界で
最初に認定された
ESD地域拠点の
一つです!

岡山市内全ての
公民館でESDに
取り組んでいます!

岡山のESSDは
スゴイ!?

特集

世界が注目! 岡山のESD

テレビや新聞などを通して、最近よく聞くようになった「ESD」。
実はそのESDの世界会議が2014年秋に岡山市で行われるんです。
そもそも、ESDって一体何でしょう?
世界会議のこと、ESDのあれこれ、岡山市のESD活動などを紹介します。

「ESD」とは？

Education for
Sustainable
Development

「持続可能な開発のための教育」

2014年に岡山市で開催される「ESDに関するユネスコ世界会議」に向け、高谷市長の思いを聞きました。

「豊かな土壌から生まれた草の根の取り組みを全世界へPR」

また、本会議は岡山の魅力を世界に発信する良い機会でもあります。来岡される方々には、岡山の豊かな自然や地域の人々との交流も楽しんでいただきたいと思います。市民の皆さんには、「岡山って良いところですね」と言ってもらえるように、おもてなしの心で温かい対応を心掛けていただければと思います。市民の誰もがESDを知り、理解できるよう今後さらにESDの周知を図り、地域一体となって本会議への機運を高めていくことが大切です。

世界会議はこれまでの成果を確認する機会であると同時に、未来への新たなスタートでもあります。岡山市では2014年を一つの契機として、国内外にネットワークを広げながら、地域一体となってさらにESDを推進していきたいと考えています。

市民の皆さんと一緒に、豊かな地球を次世代に引き継いでいきたいですね。

2014年、岡山市でESDに関する世界会議開催へ
「ESDに関するユネスコ世界会議」は、世界が「国連ESDの10年」の成果と課題を共有し、2014年以降のESD推進について議論する大変重要な会議です。岡山市で開催される初めての国連会議であり、会議の成功に向けて万全の体制で臨めるよう準備を進めています。

2014年以降も継続し、ESD推進に取り組む
これまで岡山市域では、環境・国際理解・農業・防災などをテーマに大学やNPO、企業などが連携してESDの取り組みを進めてきました。これら草の根の活動が認められ、岡山市は、2005年に国連大学から世界初のRCE(ESDに関する地域の拠点)の一つに認定されました。

岡山市民がESDに興味を持ってくれることを願う。
2日間という短い滞在期間でしたが、歓迎していただき、感謝しています。岡山市では、積極的にESDを推進していると聞いていました。実際訪れてみてポスターや垂れ幕などで広報されているなど、重要なテーマとしてESDに取り組んでいることが伝わってきました。

市長インタビュー



岡山市長 高谷 茂男

「ESD先進都市」 岡山の取り組みを国内外へ発信

ユネスコ本部
ESD
担当課長へ
インタビュー

視察で岡山市を訪れた際にインタビューを行いました



ユネスコ(国連教育科学文化機関)
ESD課長 アレクサンダー・ライヒトさん

2014年秋岡山市でESDに関する ユネスコ世界会議開催決定!

ESDに関する ユネスコ世界会議について 聞きました

私がお答え
します



岡山市ESD最終年会合準備室
副主査 原 明子

Q.1 そもそもESDって
何ですか?

A. 持続可能な社会をつくる人を
育てることです。

環境や貧困、水やエネルギー、資源の有限性など、さまざまな課題を抱える現代社会の持続可能性を認識し、この先ずっと安心して暮らせる持続可能な社会を達成するための教育であり、社会運動でもあります。

Q.2 なぜESDの世界会議が
岡山市で開催
されるのですか?

A. 市民のESDに対する
草の根の取り組みなどが
評価されたからです。

岡山市では2005年に「岡山ESDプロジェクト」が発足し、さまざまな学校、団体がESDに取り組んできました。岡山市が開催地として選ばれた背景には、その草の根の取り組みが評価されたことが挙げられます。

そもそも岡山市がESDに取り組むようになった背景には、市民の環境活動や国際理解活動、公民館での生涯学習活動が盛んであったことや、県内のNGO団体「COINN」(下記参照)が1994年からESDに関連する国際会議を継続開催していたことなどがあります。これらの土壌があったので、岡山市は世界で最

初のRCEに認定されました。また、2007年には、岡山大学が「ユネスコチェア」(※1)に認定を受け、その後、岡山大学と岡山市がESDの協定を結ぶなど、ESDに対する取り組みに力を入れてきたことが認められたのです。

Q.3 どんな会議が
開催される予定ですか?

A. ESDに取り組む世界の高校生
や教員のフォーラム、若い実践者
たちの会議などが開催されます。

「ユネスコスクール世界大会」では、世界からESDに取り組む高校生が参加し、共通の未来について話し合うフォーラムなどが開催されます。また、世界でESDを実践している若者たちが話し合うユース・コンファレンス、世界100地域以上のRCE関係者がESD推進の今後の方向性を話し合うグローバルRCE会議も行われます。さらに、日本の公民館とアジアのCLC(コミュニティ・ラーニングセンター)関係者がESDについて話し合う会議も開催します。

いずれも「国連ESDの10年」の成果を振り返り、2014年以降のESD推進について議論し、その結果を愛知県・名古屋市で開催される取りまとめ会合で共有することになっています。

岡山市のESD
普及に貢献した、
NPO法人の
ことです。

**COINN
とは?**

「Conference of International Network NGO= 岡山県国際団体協議会」の略称。現在、県内における約80の各種国際団体が加盟。1994年から「国際貢献NGOサミット」を開催。持続的社會を目指し国際会議を実施してきたことも岡山市でESDが取り組まれるきっかけになりました。

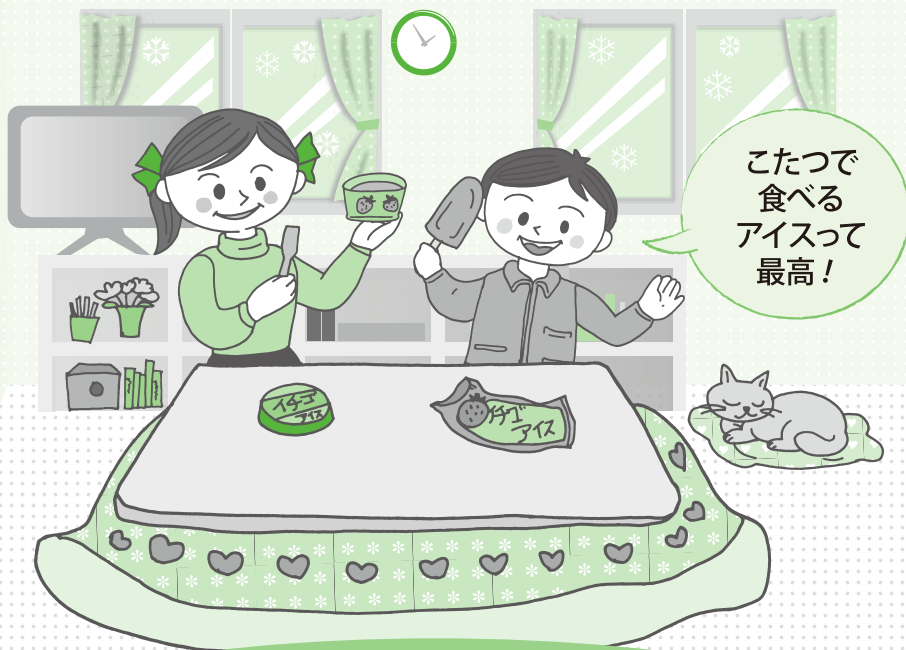
※(1)「ユネスコチェア」…大学間における国境を越えた知の共有を促進するためにユネスコが認定するもの。岡山大学は「持続可能な開発のための研究と教育」を目的としている。

岡山市で開催される ESDに関するユネスコ世界会議の日程が決定しました!!

2014年

10月初旬	公民館・CLC(コミュニティ・ラーニングセンター)会議
11月4日(火)~7日(金)	持続可能な開発のための教育に関する拠点の会議 (グローバルRCE会議)
11月6日(木)	ESDウィーク・オープニングセレモニー
11月6日(木)~8日(土)	ユネスコスクール世界大会
11月7日(金)	ユース・コンファレンス

TOPICS



2人が食べている「いちごアイス」。
これはどこからやってきたのでしょうか？

いちごアイスの主な材料

※材料やその仕入れ先などはあくまで一例です

卵



ニワトリのエサにはトウモロコシや穀物などの配合飼料が使われていて、ほとんど外国から輸入しています。

乳製品



牛乳は地元の酪農家から仕入れ、足りない時は北海道など国内から仕入れます。牛のエサは主に外国から輸入しています。

イチゴ



アイスに使うイチゴは、100%輸入です。中国や南米のチリやアルゼンチンから輸入しています。

砂糖



砂糖はテンサイやサトウキビから作られていて4割は国産、6割は主にオーストラリアからの輸入に頼っています。

日本では、欲しいものが欲しい時に手に入ることが当たり前のようになっていきます。身近にある食べ物には、どういう過程を経て私たちの手に渡っているのでしょうか？「いちごアイス」を例に、さまざまながらりについて考えてみましょう。

私たちの暮らしには、目には見えない つながりがたくさんあります